

スマホの課題

記事から学ぶ

芦原中で公開授業



NIE(教育に新聞を)実践指定校のあわら市芦原中で30日、公開授業が行われた。3年1組の17人が新聞記事を題材に、スマートフォンなどの情報端末機器を利用する際の課題を考え、一人一人がルール作りに取り組ん

だ。技術・家庭科の「情報通信ネットワークと情報モラル」の授業で、技術科の齊藤幹郎教諭(47)が授業した。コンピューター室に集まった生徒たちはパソコンを使って、「スマホ新聞記事」をキーワードに画像を検索。画面に現れたさまざまな紙面の中から、スマホなどの利用に伴うトラブルに関して気になる記事を選び、使用する上での課題を考え

た。次に齊藤教諭が、中学生の息子にスマホをプレゼントした米国母親が「18の約束」を提示したという記事を紹介。生徒



「スマホ 新聞記事」で検索して新聞記事を選ぶ生徒＝30日、あわら市芦原中

たちは、「あなたが失敗したときは携帯をあなたから奪います。私はあなたのチームメイト。一緒に答えを出していきましょう」など、愛情のこもった言葉にじつくりと目を通し、自分なりのルールをワークシートに書き出した。

最後に、生徒が考えた「顔を合わせた会話を大事にする」「相手を傷つける道具として使わない」などのルールを大きな紙に書き写した。齊藤教諭は「与えられたルールではなく、自分で考えて行動することが一番の防御策。自分の判断でよりよい生活をつくり上げてほしい」と呼びかけた。

授業後、齊藤教諭は『18の約束』を読んで、親の気持ちになって客観的に自分を見つめ直すことができたと思う」と話していた。

(小島茂生)